

田邊町報

第 六 號

昭和五年九月二十八日發行

京都府綾喜郡田邊町大字
田邊小字北川第三十番地
編輯人 西岡正延
發行人 吉山松

京都府綾喜郡田邊町役場

昭和五年九月二十八日發行

田邊町長 吉山虎三

一、町村の任務と負擔の能力

既に皆様には、よく御承知の事と存じますが、一体町とか村とか申しますものは、國家行政上の一単位として、國家の向上発展に對する責任を持つて居ります。同時に、内に有りては良く町村民全体の方に共同的福利を増進してゆく目的の基につくられてゐるもので御座ります。而して此責任を果し、此の目的を達するが爲には、一町村としての、人民の交通學生の通學及び、其他の事情の許します限りは、可成多數の住民が相集つて、教育、土木、衛生其他の諸事業を經營してゆく事を理想とするのであります。それ故に住民の數が少ければ少い程、必要缺くべからざる諸事業に對しての、一戸當或は一人當の負擔は多くなつて、かりにそれが富裕の町村でありましても、戸數の少くない處は負擔の過重に苦しんで居るのであります。まして貧弱の町村に

あります。其苦しみ方は更にひどくならざるを得ないのであります。

二、如何にして難局を打開するか

顧みますれば、四年前に郡制が廢止せられまして、町村の権限は大きくなつて、廣く自主自立の經營を認められるゝに至つたと同時に、町村が其の権利を十分に活用して、自治の妙用を發揮して行かなければならぬ責任も之と共に大に加重せられたわけで、此点は吾々公民のよく自覺しなければならぬ所であると存じます而して、こゝ數年來國家の委任事務も追々に増加し、又町村自ら營むべき仕事も益々複雑化して參りましたので、一方財政の基礎が強固にして、相當負擔能力を持つて居なければ、全くやり切れない様な有様になりつゝあるのであります。

由來文明の進歩は、年々に公共的施設の完備を促してやまないのであります。地方經濟界の實情は正に之と反対して年々に深刻なる不景氣に打ち沈みまして、

三、隣村草内村との合併意見

私が思ひますには、今日の場合之は町村合併の外に、殆ど良策はないと思ふのであります。現在は二つなり三つなりの、町村に分れて居りましても、人情、風俗、其他經濟上の利害が相當に一致し、しかも一町村として十分に經營して行き得るといふ程度の範圍のものが、一つになつて、そうして必要缺くべからざる町村の經費に對し、負擔能力の餘裕を作り出していくと言ふ事より外はないと信ずるのであります。

それ故に、私は種々町の前途の爲に心配を致しまして、夏以來慎重なる考慮を重ね、交通、資力、負擔等につき、數字上の研究も積みました結果、隣村草内村との合併を實現する事が、両町村の爲、お互に頗る有利である事を確信するに至つたのであります。

四、両村の事情の觀察

乍去、町村合併問題の成り行を各地の實際に就て觀察致しますと、思ふは易くして、行ふは難く、双方の種々なる利害の關係や、慣行の相違や、感情のいきさつ等の爲に、隨分行き惱みの状態になつて居るのが多いのであります。

然しながら我町と草内村とは、水利、水害、病院組合等に於て、すでに密接なる親族關係を結んで居り、又お互經濟におきましても、奈良電車の開通と共に益々連繋の必要を生じ来り、更に人情風俗等に於きましても著しい相違はないのであります。唯我田邊町の一部には幾分小市街を形成して居る所がありますが、草内村は大体純農村であると言ふ位の事に過ぎないのであります。

されば両方の町村民諸君が静かに大局に

着眼し、明らかに時勢の要求を御洞察下さるならば、必ずやこの合併の有利なる事を御理解下さつて、他町村の合併に見るが如き困難なくして、是れの實現を見る事が出來ようと思するのであります。

五、お互にまごころを

出し合つて

過日町會議員諸君の御會合を願つた際、この概要を申上げて下相談を致しました所、各位は此合併の必要なる事につき、賛意を表せられ大いに私を御聲援御鞭撻下さつたので、私は大いに感激いたし居る次第であります。

而して町民諸君の輿論を代表下さる方々が、斯も氣持良く賛意を表せられました所以は、どりも直さず今日の不況時代に際して、先づ町民諸君の負擔の輕減をはかり、更に今後において、大田邊町の建設を目指として、町民諸君の幸福を増進したいといふ、御誠意の外ならぬと信ずるので御座居ます。

それ故に、私は親愛なる両町村民諸君の御賢察と御共鳴とによつて、此の合併を圓満に實現し、一は以つて現今の難局を救ひ、一は以つて自治制の妙用を、今後

十二分に發揮したいと希望するのであります。

何分斯様な問題に際しては、各々立場の異なるに依つて、見方、考へ方の相違の起る事は、止むを得ない所でありますけれど共、要する所は

天皇陛下が御即位の御勅語に

『私を忘れて公に奉じ』と仰せ遊ばされた御心に従ひ、公利公益の爲めには、個人的不便を忍び、両町村全部の者が、赤誠を出し合つて、此の問題を考慮しなければならぬものと思ふのであります。

何れ私は機會の熟すると共に、各區に出来出し合つて、此の問題を考慮しなければならぬものと思ふのであります。

張し、町民諸君と親しく膝つき合せて、御相談をし、數字の上につきましても、詳細申上げる心組で居りますが、この町報上に豫め愚見の大要を申上げて、皆様の御賢考を煩はす次第であります。

次に来る十月一日に行われます國勢調査に就て趣旨の大要を御説明申上げます。

國勢調査標語

○誠意ある申告から善政が生れる。
○正直にわかるやう書け申告書。

○其の時を其の儘に

國勢調査

國勢調査ノ趣旨

(抜萃登載)

一、國勢調査は何の爲に行ひますか

國勢調査は、國家社界の實状を調べ、其の國に於ける社會組織の内容と、國民生活の實況とを審にし、施政の基礎を作るのが目的で、全國一齊に、一人一人に就いて、實地の調査を行ふのであります。

國家が繁榮し、國民が幸福になるには常に時代に適應して、國家の制度や、社會の組織を整頓し、行政の施設でも、產業の經營でせ、出来るだけ無駄や、重複のない様にすることが大切であります。

それに就いては、先づ國勢の基本を正確に知る爲に、國勢調査を行なはなければなりません。第一回國勢調査を行ひましてから、今年は十年目になります。此の十年間は、恰も世界大戰の後を承けて、

我國の經濟狀況や、社會狀態に著しき變化がありましたのみならず、大正十二年の大震災の爲、地方に依りましては、人口が根抵から覆へされ、其の分布の有様は一新し、職業構成や、產業組織も更まり、延いて生活狀態も全く面目を改め、其の影響は全國各地に及んで居ります。

隨つて定例の調査とはいふものの、此の一變した社會狀態を正確に調べ、其の正

確な統計に依つて、あらゆる國家の施設を行なはなければならぬのでありますから今回の調査は、第一回調査に勝るごも劣らない、重大な使命をもつものであります。

二、國勢調査は何を調べますか

今回行はれる國勢調査は、本年十月一日午前零時の現在に依り、内外人の別なく

(一) 氏名 (二) 世帯に於ける地位 (三) 男女の別 (四) 出生の年月日

(五) 配偶の關係 (六) 職業 (七) 所屬の產業 (八) 失業 (九) 從業の場所 (一〇) 出生地

(一一) 民籍又は國籍 (一二) 住居の室數

を實地に就いて正確に調べるのであります

右の事項は、國勢の基本を知る上に最も必要なものでありまして、其の一つ一つに就いて見ましても、非常に大切なものである事が分ります。即ち

(一) 氏名を調べると、調査が正確になるばかりでなく、國家社會成立の基本になつて居る人口總數や、各地方集團分布の狀況などを知ることが出来ます。

(二) 世帯に於ける地位を調べると、社會生活の單位である世帶の構成や、家族制度の現状を知ることが出来ます。

(三) 男女の別を調べると、人類社會の二大部門であつて、道徳風教に至大の關係がある男女の釣合を知ることが出来ます

(四) 出生の年月日を調べると、國民の活動力や、生產力の尺度である年齢別に依る人口の構成を明にすることが出来ます。

(五) 配偶の關係を調べると、國民増殖の本源であり、又社會が健全であるか否かを察知する標準である緣事上の狀態を知ることが出来ます。

(六) 職業を調べると、國民經濟發達の程度を示す職業分化の状態を明かにし、國民の健康に重大な關係のある事柄を知ることが出来ます。

(七) 所屬の產業を調べると、各產業に對する生産力の分配を知り、一國の經濟組織や、產業組織を明かにすることが出来ます。

(八) 失業を調べると、失業者の數や、失業の割合を知り、現下の社會問題として最も緊切な失業に關する基礎資料を得ることが出来ます。

(九) 従業の場所を調べると、晝間活動時期に於ける人口の分布を知り、住居地從業地間に動く人口の移動を測定することが出来ます。

(一〇) 出生地を調べると過去に於ける人口移動の趨勢、殊に都會集中の模様を知ることが出来ます。

(一一) 民籍又は國籍を調べると、内外交通往來の一般や、外地人、外國人の混入状態などを明かにすることが出来ます。

(一二) 住居の室數を調べると、國民の健衛風教に重大な關係のある住居の密

度を知ることが出来ます。

以上の事項を互ひに關聯させて見ると、尙幾多の重要な事實が、明かとなり、所謂國勢の基本が明瞭になるのであります。随つて中央及地方の行政は言ふ迄もなく各般の社會施設や、諸種の産業經營や、軍事計劃などには、なくてはならない基本資料を供給するのであります。

三、國勢調査を何時行ひますか。

國勢調査は、十月一日午前零時（九月三十日から十月一日に移る夜半）現在の状況に依り、世帯に居る人々に就いて、前に述べた十二の事項を明かにするのでありますから、世帯主は一々正確に調べて、其れを國勢調査申告書の用紙に認め、國勢調査員の來るのを待つて、提出せられたいのであります。

調査の時刻は夜半であります、決して調査員が深夜各世帯へ調べに行くのではありません。此の調査は社會の實狀を寫し取る事が趣意でありますから、世帯の人々は、調査の時刻に成るべく平常の状態を變更しない様に注意せられ、世帯主は、誤りなく記入して申告せられる様に心掛けられたいのであります。

四、國勢調査を如何にして行ひますか。

内閣から任命せられた國勢調査員は、九月二十一日から受持區内の準備調査に着手して、遅くも同月三十日までには、各

世帯主に、國勢調査申告書の用紙を配布致します。各世帯主は十月一日午前八時までに、右の用紙に、十月一日午前零時現在の状況に依つて、自分の世帯に居る人々に就いて、調査事項を正確に調べて、有りの儘を記入し、調査員の來るのを待つて、申告書として提出するのであります。若し調査員から何か問はれた時は、成るべく速く、正直に答へられたいのであります。

五、國勢調査に就て一番に何を求めますか。

國勢調査の事業は、調査員其の他の係員が如何に、周到な注意を以つて之に當りますが、其だけでも十分であります。全國民の一致協力があつて、始めて完全に調査の目的を達成することが出来るのであります。調査の事項は、見た所が至極簡単で、而かも平易でありますからといつて、此の大切な國勢調査の實行を輕るく視ることのない様に、ありたいものであります。又調査の事項は、何れも誰の前でいつても差支のない事柄であるのみならず、申告せられました事柄を公表したり、他に漏らしたりすることは、嚴重に禁せられて居りますから思ひ違ひをして、申告を嫌つたりすることのない様にあります。

調査員

受持區域

興戸區

第一調査區(奥戸區南部)調査員桐山利一

第二調査區(全) 北部)調査員村上清太郎

田邊區

第三調査區(田邊區南部)調査員西川清次

第四調査區(全) 中部)調査員大崎真一

つて、最も大切なものですから、國の爲、地の爲、誠に緊要なものであることをよく理解せられ、自から進んで正確で、正直な申告をせられたいのであります。既に前二回の調査は、全國民の一致協力に依つて、良好な結果を得たのであります。今回の調査には更に勝る好成績を挙げ、此の文明事業に於いて、我國が世界の模範となる様に吳々も十分の御注意を希望する次第であります。

本町の調査區は之を十一區に區分致しまして、調査區を擔任すべき調査員十一名と、豫備調査員二名を選定致しまして、各調査員には既に内閣より任命がありましたので、去る八月二日各員に辭令及徽章の傳達式を行ひ同時に桐山調査主任より、受持擔當區域を嚴命されたのであります。

今左に國勢調査區域及擔當調査員の氏名を御知らせ致します。

◎町報廣告欄設置豫告

町報の紙面をかさる一端として、かつては各商店廣告を掲載致すべく計画しておられより是非實行致したき心組ですから、來場御問合せ下さい。詳細は御相談に應次號發行は多分春早々の豫定です。

經濟的運用の一助となり得ばやど、
廣告掲載の御希望者は次號發行迄に
します。

内有爲
御次へ

第五調查區(田邊區東部)調查員里村幹造
第六調查區(全) 北部調查員西川榮二郎
第七調查區(全) 西部調查員北川久藏

薪
區

第十一調査區(河原區二圓)調査員高村幸太郎
第八調査區(新區東部)調査員北月敏次郎
第九調査區(新區中部)調査員村田岩太郎
第十調査區(全部)調査員木村武雄

豫備員 河村正之
國田啓一
桐山德重
太田太一
副主任 調査主任 副主任

教育勅語御下賜
十年記念に際して

學校長 大口 肇

三千年も續いてゐる我國の歴史の中で、
明治時代ほどめざましい發展を遂げた時代はありません。

我國へ西洋文明が始めて輸入されたのは凡そ三百年の昔でありましたが、幾許もなく鎖國の世となりました。そこが鎖國の禁キンが解かれて、西洋諸國の通商交ジヨコク通ツクが開けるや明治初年から歐洲の文明が非常な勢ひで侵入して來ました。當時此

洋の文明が、我國の文明に比較べて大變進んだところがあつた爲に、國民がすつかり驚いてしまつて、西洋の文明が我國の事情に合ふか合はないかと吟味する暇さへなく、一も西洋二も西洋、只西洋の眞

それ以來我國民は、此の御勅語の十一徳を遵奉して日常の道德を實行し、一旦緩急あつた際にもよく舉國一致協同して遂に世界の強國に列する様になつたので、日清戦争や、日露戦争に勝つた原因の一

似さへすればよいといつた風で「舶來品」^{舶来品}が「上等」^{上等}といふ意味にさへ使はれ、甚はだしきは、日本の國の言葉をやめて、イギリスの言葉を使ふことにしやうと眞面目に考へる者さへあるやうになりました。そればかりでなく、世界中どこにも見られない、只日本人のみ持つてゐる尊い^{タツタヤマ}トダメ^{トダメ}本魂さへ捨てゝしまつて、忠孝の道を忘れ、神を敬^{ウヤマハ}やまはず、祖先の御恩^{ゴオン}をさへ忘れやうとして、風紀が大變悪くなつて來ました。^{ゼツチヨウカツ}かくて、日本が新文明の輸入の絶頂に達したのは明治二十年頃であります。ましたが、之と同時にまた一方には、西洋

卷之三

来る十月三十日は教育勅語御下賜四十年の記念日にあたります。此時に際し私

達は天皇陛下の御稟威ミツツヅと、吾々の先輩セシナシが聖旨セイシを守つて忠孝コウソウをはげみ光輝コウキある今日の日本として下さつた事を深く思ひ、お互ひに自分の思想行動ゴシュウドウを反省して聖勅セイセキの御趣旨ゴシクジを平素ハシナヒテに實行し、すたれんとする道義を引返して、住みよい家庭、心地よい社會を作り國家の基礎キヅを益々固くする覺悟カタマリを致さなければならぬと存じます。

編輯室一筆



本町報も皆様の御聲援を得まして號を重ねること六回執務の余暇に筆を取り走らぬまゝに今又御目もじ出來ました事を御悦び申しますと共に御一同様の御健康を御祈り致します。



方面委員制度について

本年度から本町に方面委員と言ふ役目の方が出来ました。これは共存共榮の本義により近所互に相輔ける心持に基き、

社会の幸福を増進する爲に特に、京都府知事から嘱託されたものであります。

凡そ社会は人と人が相倚り相助け合ふて出来てゐるものであります。即ち世は相持ちで始めて、健全なる發達が遂げられるのであります。

所が今の社会には種々と困難な問題が起つて参りまして、社会の欠陥と疾病とは漸次多くなり、人々の生活も次第に脅かさるゝ様になつてまゐりました。爲に、實際社会には孤立無援、親は貧に疲れ、子は飢に泣きそうして働くにも仕事の無いと言ふ様な、氣の毒な人も尠なく無い様であります。

其の他世帯向の事や、公の手續上のことにつき不案内の爲に、不利不便を感じて居るものも随分多いのであります。此等の人々の爲に、よき相談相手となり、之を幸福に導き、社会を健全圓満なものにする爲に設けられたのが方面委員の制度であります。

以上の趣意の爲に、此の制度が設けられたのでありますから、生活のことや、

職業向のこと等に關しましても不案内のことは、遠慮なく相談して頂きますすれば親切に、皆様の爲に味方となつて、盡して頂くことになつて居ります。

方面委員の御宅には「京都府方面委員」と記した門標が掲げてあります。

御参考迄に本町方面委員の氏名を左に申上げます。

大字薪區

西川 良弘

喜多 源吉

大崎 善次

北川 學信

吉川 秀藏

田邊 藤治

北尾浪三郎

大字田邊區

山村 靜夫

大字河原區

北緒 義藏

吉川 秀藏

竹村彌太郎

軍事

昭和五年度徵兵検査は去る七月十六日京

都聯隊區徵兵署(田邊町郡農會集會場)に於て執行されました。抽籤は八月二十八日久世郡宇治町公會堂に於て行はれまして、其の結果當町の受験人員及成績は左の通りです。

本籍地に於て受験者 參拾貳人

出寄留地に於て受験者 參人

參拾五人

甲種合格者 七名

福田九壽穂

第一乙種 四名

第一乙種步兵第十番

西川 喜一

全 騎兵第一番

山村 靜夫

全 看護卒第二番

北緒 義藏

全 輜重輸卒第拾參番

竹村彌太郎

第二乙種 九名

氏名 省畧

第二補充兵に編入者 五名 全

徴兵免除者 拾名 全

因みに抽籤徵兵署の抽籤總代人として本郡より當町加藤史郎君選定され、抽籤執行當日御足勞になりました。

◎軍隊慰問

去る八月四日五日の両日、余良歩兵第三十八聯隊及伏見步兵第九聯隊、全輪重兵第十六大隊に本町より出身の現役在營者慰問の爲、尙武會長、在郷軍人分會長、小學校長、兵事主任、其他青年團長在營者父兄と共に各隊に出頭致しまして、親しく面會致しました。各在營者は專心軍務に精勤せられ、至極御壯健であります海軍兵、飛行隊、満洲守備の各隊及朝鮮の各隊、舞鶴重砲兵大隊の在營者には、

甲種歩兵第廿四番

浦谷 隆男

甲種騎兵第二番

木村 宗一

甲種鐵道兵第二番

市川 順次

甲種鐵道兵第參番

加藤 史郎

甲種水兵第八番

北尾 清一

甲種重砲兵籤外

西川要太郎

八月七日附にて慰問状に慰問金を添へ各人に發送致しました。

而してこれ等遠き異郷にある（殊に満洲及朝鮮の）在營者慰問に就ては京都府町村長會に於て、慰問團が組織されまして、各郡より一名の代表者が去る九月十三日出發されたのであります。

歸村は多分九月三十日の豫定であります。本郡よりは草内村長岡井利一氏代表慰問されつゝあります。

税務

納稅に關しましては、多辯を要さずとも皆様よく御承知の御事と存じますが、

本年度上半期の徵稅も既に終りまして、今滯納整理に取掛つております。

皆様の内に滯納の意志なく、御多忙の爲つい御忘れの稅金が残つておりますので過日御手許に御通知申上げました、結果大分御納めになりましたが未だ納められない方がありますので、此際是非至急完納されん事を紙上を以て再催告申上ます。若し納稅が遅延された場合は不正規の滯納督促状を發しなければならない爲斯くすれば生きの立たない、加重の上に加重の稅金外の手數料を納めなければなりません。之には當局としての手數を要することは申す迄もなく、いらざる手續に及ばなければならぬ事になりま

するから此邊爲ご御承知下さい。

終りに四年度の町稅滯納整理の結果は非常に好成績を以て完結致しましたが、只に國稅徵收法に依り處分執行致しましたのが十二件ありました。本年はこうした處分の手續を要しない様御互に努められんことを希望致します。

学校通信

▲職員異動

退職 藤村 千代
新任 代用教員 南村美智香

▲兒童文苑

大阪から東京まで 畿五 市川 繁

午後六時四十分おとうさんはじめ家内一同は大阪から東京行の急行列車に乗つた。する分すいてゐたがすぐにつまつてしまつた。おとうさんが「はだかになれ」とおつしやつたので、はだかになつた。汽車は大阪えきを出た。急行であるからずる分早い。車掌さんが「トンネル」でござりますから、中ごをおしめ下さい、と言つたのでしめた。やがてトンネルをくつた、もう外は大分暗くなつてゐた。

た。其の時、日はもうすつかり暮れてしまつた。僕が座つて居るとなりが一つあいてゐたので僕はそこへ行つた。おとうさんが「もう寝よ」とおつしやつたので寝ころんだが中々寝られない。仕方がないから起きて坐つてみると、寝むくなつたので直ぐ寝てしまつた。目がさめるときの時はもう起きてゐる者は一人もない。おとうさんの腕時計を見ると、夜の一時三十分、外を見ると真くらやみ。おとうさんが買つて來て下さつた、空氣まくらをふいてみると、おかあさんが起きてきて「繁・梨をたべなさい」とおつしやつたので食べた。君子は死んだやうになつて寝てゐる。おとうさんは少しも寝なかつたさうだ。やがて大きな驛についた。「おとうさん此所は何所ですか」「豊橋だ」とおつしやつた。又ねむくなつたので空氣まくらでねてしまつた。やがて目がさめた、「此所はどこか知ら」と外を見る大きな驛にとまつてゐた、「お父さん」此處は何所ですか」と聞くと、「静岡だらう」とおつしやつた。もう静岡に來たのか知ら」と驚いた。もう夜も明け方で、あたりは大分明るくなつて來た。それから顔を洗つた。ビスケットを食べながらお父さんに驛々のお話をうかうつた。

汽車は相かはらず勢よく東へへへと走る

水泳場へ

尋六 神田 則子

「つぎは木津川。木津川で御座います。」

車掌さんの元氣のよい聲が聞れる。私の心は急におどり度くなつて來た。目前には木津川水泳場の様子があり／＼と浮んで來る。電車の中には私の友達もかなりゐる。五六十位の老人もゐる。青田や桑畠を窓の下に見ながら、早や木津川まじかに來た。車掌さんが「木津川で御座います、木津川、木津川」と車は止まつた。電車のよこには多くの客が待つてゐる。心の動機は強く打つ。ふと前の事が思ひ出された。飛び込むと、ばたんと飛ばしるが人にかゝつた、隣の人はくるりと後向きになつた。私はまだ泳げないのと時々ランニングをやり、水煙を散して人に笑はれる。こんなことを思ひ出しながら、川に飛び込んだ。

自己を省みて

高一 深田登代子

情け深いおちいさんを失つてから、たゞ一人の母を杖として勉強する様になつた。母は私の學校のことを常に心配して何かよく注意をして下さる。不幸にして父を知らない自分には、この母こそ何物にもかへることの出来ない大切な人であるのに、私は或日この母を大變苦しめた。丁度午後の一時間目唱歌の時であつた、四五人の友達といつしよに先生から叱られて外に出された。自分の身に何の覺にもなかつたが、先生の命にそむくことも出来なかつたので外に出てしまつた。そ

り小言を受けたことのない自分！ 高等受持の先生に皆の友達にどうして顔が合せよう。自分は學校をやめる決心をして家に歸つた。母は私の話を聞き、「そうであつたが、母さんは引かすことは出来ません。今あなたの立場をよく考へごらん、今日のことはあなたにとつて、これから後の大變よい戒めです。お母さんは先生にお禮を申します」

たゞこれだけの言葉であつたが母の目には涙が光つてゐた。噫々そうであつた。今自分の身にうけたこの戒めを省る時をして自分の考へのまちがつてゐることをさとつた時、言ひ知れぬ涙がどめどな流れ落ちのだつた。

塊の馬鈴薯

高二 木口ヨシエ

黒いとばかりが次第／＼に邊りにたゞよいだした。まばらに顔を出してゐる星は夜のとばかりを破るがごとく光つてゐる。鼻をつもまれてもわからぬ様なびしを通つて姉の家に歩きをはこんだ。門につくとむら／＼と復讐心がわき出した。「今晩は」「はい」障子のすきまからこつそりのぞくと丁度兄さんと、姉さんの二人の食事最中だ、姉はたしかごつかのお客様だと思つたのでせう。食べさしのまだ大きな馬鈴薯をぐつと呑込まれたらしい。

の時あれ程學校を氣にして毎日自分の歸りを待つてゐて下さる母に！ と思へば、改心は千々に亂れて來る。六年間先生より小言を受けたことのない自分！ 高等でしかも組長と言ふ重い責任を持つ私！ 受持の先生に皆の友達にどうして顔が合せよう。自分は學校をやめる決心をして家に歸つた。母は私の話を聞き、「そうであつたが、母さんは引かすことは出来ません。今あなたの立場をよく考へごらん、今日のことはあなたにとつて、これから後の大變よい戒めです。お母さんは先生にお禮を申します」

たゞこれだけの言葉であつたが母の目には涙が光つてゐた。噫々そうであつた。今自分の身にうけたこの戒めを省る時をして自分の考へのまちがつてゐることをさとつた時、言ひ知れぬ涙がどめどな流れ落ちのだつた。

(廣告) 町報紙上を借り

田邊町商工協会 世界的不況は何時朗かな笑みと共に回復の曙光を見るか、不況の究極は「今」なりとは認し得ない程の懊惱に忍びつゝある現今経済状態に直面して、本協会は、單一現金主義を要望致したきも、到底意にあらず。されば安價廉賣を主とするも、資本流通の疎なる爲、需用家各位に對し心ならずも満足を計るに苦しみ居り、さりとてこの廉賣主義を到さんとするには其處に需用家各位よりの資金融通の圓滑を計らざるべからず。茲に於て、前年各位の御諒解を得て、實施の苦なりしを専ら行し以て、短縮に伴ふ金利其他を打算し、絶對的廉賣を協定致し必ず御期待に副ひたく存じます。何卒微意を御洞察の上倍舊の御愛顧を賜はらんことを、紙上の一端を借りて、普く各位に豫告旁々御願申上候。

◎「今農村不況を如何にして切りぬけるか?」

太田技手

農村現下の不況對策、これは目不焦眉の問題として、政府、民間、特に直接關係の有する農會等にありて苦心しつゝある大問題であるが、倣而この難境を如何にして切り抜けれるかと云ふ其以的な對策は何々であるか、農家自身の對策は各個が決心さへすれば今日只今より出來得るが、國家的施設は一部の人々の考へる如き火急には實施することが至難であらう。

但し同じ農村に於いても不況の輕重が農村の位置に於いて異なり、都市附近の農村、都市に稍接近せる農村、山間地帶と尙又産業の組織經營の狀態によつて差異あれ共、先づ都市に接近せる農村としての本町に於いての之れが對策は御互に最も考慮すべき一大問題なるが故に左の各項に就いて真剣に考究實施を願ひたい。

一、農業經營方面

(イ)この際自給肥料の真價に充分注意して自給肥料の製作に全力を注ぐこと。
(ロ)堆肥、厩肥、綠肥栽培、山草刈取、野壺改良)
(ハ)稻作の增收と裏作として、小麥、豌豆、蔬菜、玉葱、甘藍、其他)販賣法改善

による勞力補給を少なくすること。

(ハ)稻作の增收と裏作として、小麥、豌豆

(ニ)桑園、茶園にはなるべく間作栽培として、綠肥を播付け自給肥料による金肥防止。

(ホ)新規な農藝茶具は充分考慮の上購入するも出來得る限り現在のものにて使用。

二、農家の生活方面

(イ)各農家の消費節約の基に此の際充分の撤底を計ること。

(ロ)農村生活振りを發揮して都會化生活を防遏すること。

(ハ)農家は各經濟簿の記帳をなして收支を明瞭にすること、同時に之れを基礎にして新計劃を樹つる材料にすること。
(ニ)社交上の失費節約及冠婚葬祭費の場合の失費節約について、既に定まりたる規定を此の際を實行すること。

三、購買販賣方面

(イ)農家は産業組合か若くは共同して購買販賣すること。

(ロ)農家組合十戸——二十戸を組織して

共同的に農產物の共同處理を行ふこと、以上の各項は到つて簡単な事項であるが故に各農家は益々自重して、此際不況對策に對して各農家に適應せる方針を計劃して家内一致協力以つて持久的に方法を構じ時期の到來を待つて來るべき好景氣に進出する決心が肝要である。

御互ひは農家であり其の經營は大体か

ら見て總べて小經營の農業者であるが故に、不況に際しては經濟方面に於いて自給力強大であるだけ生活は安定し得る、今農業者以外に於いては自給による經營方法は全く構することが出來得ないだけ不況に對しては相當深刻味が加はるのである。今や愈々農村不況の折柄御互ひは自重自愛小農業者の本領を發揮して不況に對する策を構策し進んで實現に努力すべきである。

◆府農會農業經營批評會授賞者

壹等賞 西村元吉 參等賞西村與三治郎
四等賞 竹村六一

京都府農會主催農業經營批評會に本町より西村元吉氏外五名出品す。審査の結果右上の授賞を得らる。此處に授賞者に敬意を表し益々其の真價を發揚さるゝことを切望する。

因に本郡入賞四名の内本町參名にして尚壹等賞は府下壹名が之れ又本町に當賞のことは本町の名譽とする所である。

◆鶴ノ子柿の濾拔法實施

興戸産業組合では試驗場長式地技師の指導の元に、本年產鶴ノ子柿を脱濾して共同出荷を計劃す。其の方法割合簡單にして、完全に脱濾出來たる曉には本町產鶴ノ子的一大革命である。石油箱に荷造完成のものを用ひて炭酸瓦斯を注入一低温設備にて一度に參、四拾個が出來得る見込。

◎秋蔬菜の販賣は京都市内へ

今年の西瓜收入は豫想に反したが、今秋米價豫想と比較すれば尙上位であるがそれには相當の手間がかゝつて居る。手間は農家のものにしても手間が多くか、れば收入も多くあつて欲しいと念ずるのである。西瓜の跡作には今年は相當努力栽培の結果か昨今秋蔬菜の出來上りが目立つて來ました。地賣りも結構だが、京都市内へ進出して販賣の第一線に立つて奮發せなければならぬ。

（一）京都中央市場乙立賣場は吾々農業者の農產物の直接販賣所で、販賣方法は左程困難なことではなく、御瓦生産者が直接立賣場で商人に賣るので最近の調査では一人賣上高最高拾圓最低四圓内外で、時間は毎朝六時より九時か十時もかゝれば完全に賣切れて了ふ。毎日立賣人數五十名より多き日は二百六十名程これは一間一人の賣場で料金一人金拾五錢で他に經費がかゝりませぬ。農家販賣のために特に設けられた所です。詳細は町農會へ御問ひ合せ下さい。

（二）京都市内小賣販賣

都會近くの農家は毎日小賣販賣をなして自分の生産品を直接消費者へ賣渡して居りますが、五里と離れるごとに至難か知らない。京都市内へ進出する意氣込の方があ

多數あつて欲しい。

農產物特に秋蔬菜の販賣に於いては先驅者として模範を示されんことを切望致します。これが不況を切り抜ける唯一の

方法でせう。何れにしても此際有志談合の上京都市内販賣法の計畫を實施されたい。細部につき尙相談する機會を作りたい。

儀検査日割通知ノ件

左記豫定で儀検査實施致しますから御準備を願ひます

薪 記

薪 区	十月七日	二十日
田邊區	十月八日	二十一日
河原區	十月九日	二十二日

◆第五回畜牛品評會 今年の俵は全般に餘程美しいことは喜ばしい、未製の方は不合格にならぬ様に。

◆第五回畜牛品評會 第五回畜牛品評會は十月中旬田邊校に於いて開催致します精々多數御出牛を希望致します、詳細は各組合役員に御尋ね下さい。

◆新規耕牛購入者には補助金交付

耕牛を新規に購入された當業者には農會は規定により豫算の範圍内に補助金を交付致して居りますから、精々利用され金肥節約地力増進のため出來得るだけ耕牛購入の程をお勧め致します。

尙新規購入済の方で補助金未渡の方は至急申出下さい。



軍人會

△招魂祭と假設動員

十月一日午後一時田邊校に於いて招魂祭を執行全時に假設動員實施致します萬障総合參加の事御知らせます。

尙當日特に日清、日露戰從軍者を始め各種團體の御參拜を希望致します。

△軍事活動寫真

十月一日午後七時より郡農會集會所に於て京都支部の軍事活寫フィルム種類

肉彈の勇卒、海軍記念日、春はのどか他二種

△海軍觀艦式陪觀十月二十六日神戸港沖にて舉行の海軍大觀艦式を陪觀することに決定、本分會員三十名船上陪觀の光榮に浴する觀艦式は二十有余年目にして吾々會員としては又と此の光榮に浴することは至難であらう。

△聯合分會武術大會

十月五日午前八時より田邊町に於いて、本郡聯合分會主催第三回武術大會開催さる本町選手各位の御奮闘を御祈りす。

銃劍術 參名 軍刀術 壱名
射撃 貳名

△駐満鮮兵慰問歸京

京都支部慰問團は九月二十四日無事歸京